

第1号議案

令和2年度 アジェンダ21すいた 事業活動報告

1 フラッグシッププロジェクトの推進

1 事業内容

(1) 地球温暖化防止プロジェクト

フラッグシッププロジェクトとして5年目になりました。今年度は新型コロナウイルス感染症という新たな脅威の中、様々な活動が制限されました。当プロジェクトも拡大防止に気を配りながらの事業実施となり、やむを得ず計画変更や事業中止したのものもあります。コロナ禍でも地球温暖化防止も目標の一つとなっているSDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）の認知度アップと、一人ひとりができることから実践していただくことを目標に活動しました。



1-1 すいたクールアースウィーク

市内公共施設、企業、各種団体の皆様に「地球温暖化防止に向けた取り組みの全市的な促進」を目的に、10月24日（土）～11月3日（火・祝）の間、省エネ活動、地球温暖化に関する啓発展示などに取り組みました。具体的な取り組みは以下の通りです。

<取組1> 市役所本庁舎ロビー展示

開催日：10月28日（水）～11月2日（月）

場所：市役所本庁舎1階ロビー

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、すいたムーンライトコンサートができませんでした。代わりに、「ムーンライトコンサート写真館」としてこれまで3年間のコンサートの様子をまとめたパネルを展示しました。また、ガンバ大阪元監督の宮本氏はじめ3人の選手の皆さんのポスターやSDGs、エネルギー部会、自然部会、食品ロス削減フラッグシッププロジェクト、ウォームビズの案内などのパネル展示をしました。



<取組2> Gステージ

開催日：10月31日（土）

場所：パナソニックスタジアム吹田の入場ゲート前の特設ステージ「吹田Gステージ」

ガンバ大阪の選手のパネル写真を掲げ、環境省作成の動画『気候変動への挑戦』、吹田市の職員が企画・出演されたアクションリレー動画を上映し、地球環境を守るために、一人ひとりができることから取り組もうと訴えました。



<取組3> 神崎川河畔プラごみゼロアクション～海洋プラスチックごみを減らそう～

共催：NPO 法人すいた市民環境会議、アジェンダ21 すいた

開催日：11月1日（日）9：30～12：30

場所：江坂公園から神崎川河畔方面に続く 1.4Km

歩きながらごみ拾いをしました。江坂付近のごみは3.1Kgで、たばこの吸い殻や小さなプラごみが目立ちました。河川敷のごみは41.6Kgで、プラスチックの部品を含む電化製

品や自転車部品、生活用品などがありました。途中 2 か所に不法投棄とみられる大量のごみがあり、市の担当課に通知しました。（参加者：27 人）



<取組4>ミニソーラーカー工作とソーラーカー（そらくる号）試乗会

主催：公益財団法人千里リサイクルプラザ

開催日：11月1日（日）①10：00～11：30 ②13：00～14：30

場所：くるくるプラザ

太陽光で走行するミニソーラーカーを作り、ゴーカート型ソーラーカー（そらくる号）の乗車体験を行われました。（参加者：40 人の子どもとその保護者）



<取組5>「プロギング in 吹田キャン！」

主催：大阪大学環境サークル GECS

開催日：10月31日（土）

場所：北千里駅から大阪大学吹田キャンパスまで

8人1時間ほどで燃えないごみ 0.75Kg、燃えるごみ 1.25Kg、たばこの吸い殻 150本ほど拾われたとのこと。

※プロギングとは、ごみ拾いをしながらジョギングをするという、北欧発祥のアクティビティです。



<取組6> 環境や月をテーマにした特設コーナー設置

主催：吹田市内の各図書館

開催日：10月24日（土）～11月3日（火・祝）

場所：市立図書館7館2分室

「環境」「月」「地球温暖化」をテーマとした書籍を、特設コーナーに展示していただきました。



<取組7> すいたクールアースウィーク地球温暖化と伝統のくらし

主催：大阪学院大学

開催日：10月1日（木）～11月30日（月）

場所：大阪学院大学図書館2階 企画展示コーナー

地球温暖化防止についての図書に加え、プラスチックごみ削減の観点から「ふろしき」や「てぬぐい」「くらしの折り紙」についての図書も展示していただきました。



<取組8> すいたクールアースウィーク コラボレーションブース設置

主催：関西大学

開催日：10月1日（木）～11月16日（月）

場所：関西大学総合図書館2階

KANDAI for SDG s 推進プロジェクトによる教員推進図書やアジェンダ21すいた会員の推薦本を中心に書籍展示をしていただきました。



<取組9>吹田市長、市職員、すいたん、田村氏（麒麟）による動画
作成：吹田市

吹田市の後藤市長、副市長をはじめとして職員、すいたん(吹田市イメージキャラクター)、麒麟の田村氏（吹田市広報番組MC）がSDG sに関連した環境配慮の取組を紹介しながらボールをリレーする動画を作成されました。市ホームページにもアップしています。



この他にも、以下の通り、吹田市内の企業・大学・団体・公共施設が参加しました。
アサヒビール株式会社吹田工場、阿部住宅設備機器株式会社、大阪アニメーションカレッジ専門学校、大阪学院大学・大阪学院大学短期大学部、大阪ガス株式会社、一般財団法人大阪市青少年活動協会、国立大学法人大阪大学、関西大学、株式会社ガンバ大阪、キャットミュージックカレッジ専門学校、吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館（ゆいぴあ）、NPO 法人すいた環境学習協会、吹田市情報発信プラザ（Inforest すいた）、公益財団法人吹田市文化振興事業団、吹田商工会議所、NPO 法人吹田歴史文化まちづくり協会、スパゲッテリア マッキー di HAYASHIDA、千里金蘭大学、株式会社大久、株式会社ダスキン、吹田市立男女共同参画センター・デュオ、吹田市立博物館、株式会社日比谷アメニス、フリースクール ここ、三井不動産株式会社、大和大学、リコージャパン株式会社 ※五十音順

（2）食品ロス削減プロジェクト

2-1 すいた食べきり運動啓発キャンペーン

今年度はコロナ禍のため、店舗への働きかけができませんでした。「すいた食べきり運動推進協力店」について精査した結果、辞退や閉店などがあり、69店舗（令和2年10月末

現在)の登録となりました。「すいた食べきり運動推進協力店」実施要領を設け、協力店舗の管理をしやすくしました。

協力店舗の情報を市民・店舗共に活用できるようHP上での掲載方法を検討しました。その方法の一つとして、協力店舗の紹介シートを作成するために、登録店舗へ新しい賛同書の記入を依頼しました。

また、これから賛同を検討されている店舗の方向けに、HP上から賛同書などをダウンロードできるようにHPを改善し、協力店舗の申し込みが容易になるようにしました。さらに、エコレター10月号に一部の協力店を紹介しました。

10月7日(水)

大阪府流通対策室 高取主査に府の食品ロス削減の取組をヒアリングしました。

10月28日(水)～11月3日(火・祝)

すいたクールアースウィークロビー展示に参加しました。

啓発グッズ例



2 実施評価及び課題

地球温暖化防止フラッグシッププロジェクト、食品ロス削減フラッグシッププロジェクトともに、新型コロナウイルスの影響を受け、計画通りに動くことが難しい1年でした。

地球温暖化防止を取り巻く状況としては、令和2年10月に政府から「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする。」ことが表明されました。令和3年2月に策定された吹田市第2次地球温暖化対策新実行計画においても、2050年までに市域の温室効果ガス排出量を実質ゼロにするとしています。また、同年同月には、吹田市と豊中市が「気候非常事態共同宣言」を行いました。

我が国においてもようやく地球温暖化に対する意識が高まってきたともいえる一方で、市民生活においては、ゼロカーボンに向けた具体的な行動変容までには至っていない現状もあります。

こうした中、地球温暖化防止フラッグシッププロジェクトでは、「すいたムーンライトコンサート」が中止となったものの、「すいたクールアースウィーク」を通じて、賛同団体と

連携し、地球温暖化防止の啓発活動を行いました。

課題としては、コロナ禍の中でも効果的に啓発をすすめる方法の検討が不十分であり、今後、検討した上で、「すいたクールアースウィーク」、「すいたムーンライトコンサート」を通して、市民一人ひとりに家庭でできる省エネの工夫を広めます。それに加えて、関係団体との連携、新たな担い手の創出、市内複数箇所での開催なども課題として挙げられますので、その達成を目指して取り組みたいと考えています。

食品ロス削減フラッグシッププロジェクトでは、「すいた食べきり運動」の見直しを行いました。一人でも多くの市民に「すいた食べきり運動」を周知するため、ホームページの見せ方を検討してきました。

課題としては、市民の方々への協力店の認知度が足りないこと、協力店の店舗数をさらに増やしていくことです。そのために協力店のより効果的なPR方法を検討し、ホームページの改修などを行い、課題改善に努めたいと思います。

フラッグシッププロジェクトを開始してから今年で5年目を迎えます。新型コロナウイルスで活動に制約もある今こそ、アジェンダ21 すいた内部で話し合いを重ね、プロジェクトの新しい姿を模索する機会としたいと考えています。

2 全体事業

(1) 市内環境団体との連携・交流

事業内容

すいた環境教育フェスタ 交流会

新型コロナウイルス感染症の影響により、すいた環境教育フェスタ2021はウェブ開催となりました。

例年、その場で予定していた交流会についても、今年度は開催できませんでした。

(2) ヒートアイランド／熱中症予防啓発事業

事業内容

すいすいくん祭りへの出展

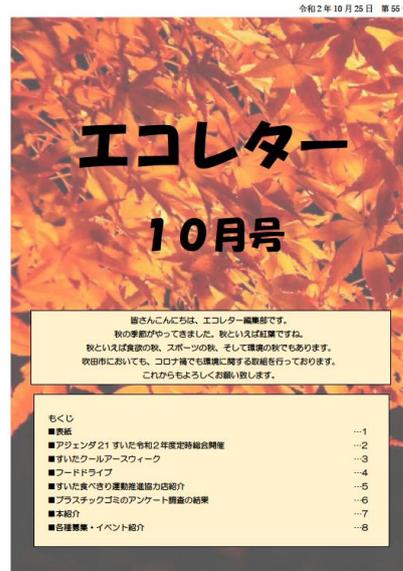
吹田市水道部主催で行う「すいすいくん祭り」は新型コロナウイルス感染症の影響により、開催が中止となりました。毎年、すいた環境学習協会のすいたエコクラフトクラブの協力を得て、水鉄砲とバンブーアート作製を実施し、スプラッシュテストで打ち水を行っていましたが、開催ができず、残念でした。

(3) エコレターの発行

事業内容

関西大学良永ゼミの学生の方と共同で「エコレター」を作成しています。記事作成は共同で行い、編集は良永ゼミの学生の方が行っています。学生の方の若い視点で市民の目を引く「エコレター」を発行することができました。

会員への情報提供及び市民への環境保全活動の普及を目的に、例年、年4回発行していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により3回となってしまいました。（令和2年10月、令和3年1月、4月）



(4) すいた環境教育フェスタ

事業内容

すいた環境教育フェスタ 2021 は新型コロナウイルスの影響により、ウェブ上で開催することになりました。アジェンダ 21 すいたも出展団体として PDF データを出展し、参加しました。

まず、全体紹介としてアジェンダ 21 すいたの設立経過や部会、フラッグシップの簡単な紹介をしました。

エネルギー部会からは「じぶん発電所づくり」と「省エネ相談会」の取組紹介、自然部会からは「みどりのカーテン」の取組紹介、資源部会からは「ふろしきの包み方講座」と「靴の修理屋さん」の紹介をしました。

フラッグシッププロジェクトは地球温暖化防止チームから「すいたクールアースウィーク」の活動報告と今年度は開催できなかった「すいたムーンライトコンサート」の過去の写真を出展し、食品ロス削減チームからは、食品ロスについて紹介し、削減を呼びかける PDF とすいた食べきり運動推進協力店を紹介する PDF を出展しました。

(5) ホームページの管理・運営

事業内容

令和2年6月から令和3年5月にかけて、「アジェンダ21 すいた」の活動を広く市民に情報発信しました。

(6) 定時総会運営事業

事業内容

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の定時総会は書面開催となりました。例年、講演会、懇親会を同時開催していましたが、そちらは開催することができませんでした。

3 部会別事業

【エネルギー部会】

1 事業内容

省エネ型ライフスタイルの普及・啓発や、再生エネルギーの利用を促進するための仕組みづくりを進めます。

1-1 暮らしのCO₂ダイエットの小学校への展開

環境学習としてCO₂ダイエットに取り組んでもらえる学校の発掘に取り組み、江坂大池小学校において実施されている「サタデースクール」に参入できる目途がつかしました。プログラムについて内部で検討を重ね、関係機関とも調整を行うなど、令和3年度からの実施に向けた諸課題の解決を図りました。

1-2 エコキャンドル作り

コロナ禍において実施することができませんでした。

1-3 再生可能エネルギーに関する市民啓発イベント

令和元年度に実施した「じぶん発電所づくり基礎講座」を受け、応用講座を実施する予定でしたが、三密を避けることができず開催には至りませんでした。

また、「自転車利用の促進」などをテーマとしたオンラインでのセミナー開催を模索しましたが、実施するための機材やオンラインアカウントの問題を解消できず、実施には至りませんでした。

1-4 「省エネ相談会」

コロナ禍において市の主催行事がほぼ中止となるなど、実施には至りませんでした。

当該事業の実績があるNPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 との面談を行い、そのノウハウについて情報提供を受けました。

2 実施評価及び課題

長年継続してきたCO₂ダイエットの新たな展開として、子どもを通じて家庭の生活習慣を見直してもらうきっかけとなることをめざし、小学校で取り組んでもらえるよう模索してきましたが、ようやく実施の目途が着きました。まずは江坂大池小学校で実施し、今後のさらなる展開を図りたいと考えています。

省エネ相談会については実施することはできませんでしたが、先進事例を学ぶことができました。開催場所や関係機関との連携についてアドバイスを得たので、今後の取り組みに活かしていきたいと考えています。

コロナ禍における市民啓発イベントについて、大いに課題が残りました。オンライン開催など多様な手法を検討する必要があります。

【資源部会】

1 事業内容

持続可能な循環型社会を目指すため、使い捨てのライフスタイルを改め、物を大事にする意識の啓発と3Rのリデュースに重点を置いた、ごみを生まない資源循環の仕組みを形成します。

1-1 ごみの減量・資源化のための啓発

「吹田ごみ減量・再資源化推進会議」のメンバーとしての活動は、コロナ禍の為、会議は書面開催で行われ、令和2年度のマイバッグ持参率や事務局の取り組みの報告があり、新規取り組みや吹田市第3次一般廃棄物基本計画策定に向けての意見募集がありました。

神崎川河畔ごみゼロアクション(11月1日)に参加し、ごみ拾いをしながらプラごみについて考えました。

1-2 市内に給茶ができるスポットを広げる取組

アジェンダ 21 すいたの総会やすいた環境教育フェスタの会場で、マイボトル・マイカップ持参の人に給茶サービスを行う予定でしたが、コロナ禍の為、どちらも会場での開催ができず、実現できませんでした。

市内の環境団体とともに給水スポットを増やす活動に参加し、情報収集及び今後の活動の拡大が見込めるようになりました。

2 実施評価及び課題

11月の神崎川河畔プラごみゼロアクションに参加し、海洋プラスチックの問題について考える機会となりました。

すいた環境教育フェスタはウェブ上での開催となりましたが、「マイカップ・マイボトル対応のカフェ情報」のマップを電子データにできれば、HPで閲覧できるツールになるので、今後、改良に取り組みます。

「給茶ができるスポット」の活動は、市内の環境団体と接点を持つことができ、新たなメンバーを得て、給水スポットの拡大など今後の展開が期待できます。

【自然部会】

1 事業内容

1-1 みどりのカーテンの普及・啓発活動

みどりのカーテン講座、エコクッキング講座については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。

1-2 自然観察会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。

1-3 生物多様性の普及・啓発活動

市役所ロビー展示に生物多様性パネル及びリーフレットを展示・配布しました。
吹田商工会議所会館前植込みに「在来種の庭」を提案しました。

2 実施評価及び課題

各講座、観察会が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

生物多様性については、特定外来種・在来種の両側面から取り組んでいく必要があります。

今後もテーマに沿って市民にわかりやすく参加しやすい活動を組み立てていく必要があります。そのために他団体とも連携しながら進めていく必要があると考えています。

部会事業の参加メンバー（50音順）

エネルギー部会

大林テル、岡本榮一、笹倉俊男、中野政男、馬場慶次郎、福井一彦、百地俊満、吉田誠

資源部会

孫田ケイ子、水川晶子、三輪信哉、山口百合子

自然部会

喜田久美子、寺西信明、馬場多佳子、藤田和則